

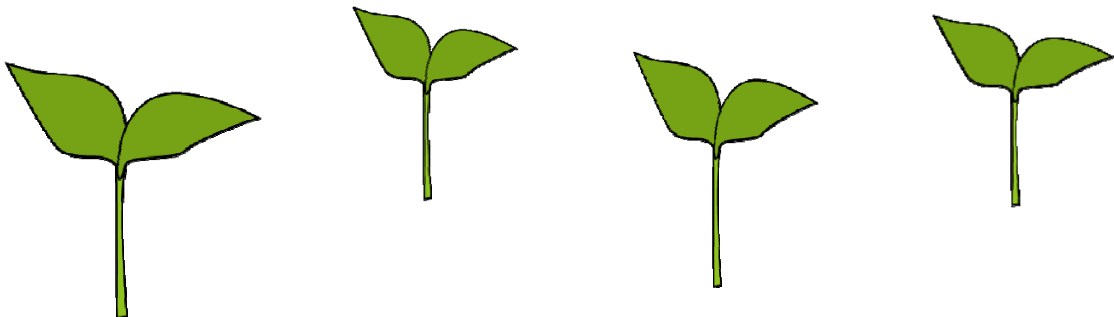
環境活動レポート

平成25年1月～12月

地球を守ろう！！

取り組んでいます エコアクション21

- ・ 温暖化対策CO2削減
- ・ IT化
- ・ エコキャップ回収
- ・ グリーン購入
- ・ 清掃活動



作成 平成26年4月
岡崎医療株式会社

1. 事業所名 岡崎医療株式会社
2. 代表者名 齋藤 嘉廣
3. 所在地
- 本社、山形営業所
〒990-0025 TEL 023-623-0537
山形市あこや町3丁目4-3 FAX 023-632-4880
- 本社 第2ビル(倉庫)
山形市あこや町3丁目1-3
- 鶴岡営業所
〒997-0057 TEL 0235-22-0106
鶴岡市安丹字村上4-10 FAX 0235-24-5104
- 酒田営業所
〒998-0842 TEL 0234-24-5012
酒田市亀ヶ崎2-3-14
- 医学部前調剤薬局
〒990-2331 TEL 023-624-1123
山形市飯田西4丁目5-35 FAX 023-624-9659
- 鈴川調剤薬局
〒990-0062 TEL 023-624-6861
山形市鈴川町3丁目8-5 FAX 023-624-6862
- かごた調剤薬局
〒990-2484 TEL 023-647-8726
山形市籠田1丁目14-28 FAX 023-647-8727
- 城西調剤薬局
〒990-0832 TEL 023-646-8820
山形市城西町5丁目29-24 FAX 023-646-8824
- 七日町調剤薬局
〒990-0042 TEL 023-642-1200
山形市七日町5丁目12-13 FAX 023-642-1212
- URL <http://www.okazaki-iryo.jp>
4. 事業の規模
- 資本金 : 20,000,000円
- 売上高 : 42億6979万円 (平成25年度)
- 従業員数 : 77名
- 床面積 : 2,247.60㎡ (山形:1,637.74 鶴岡:609.86)
5. 事業の概要
- 事業内容 : 山形県内を基盤とし、医療機器・医療材料全般及び介護福祉用機器・用品の販売修理を行う総合商社であり、診療所の新規開業支援、調剤薬局の経営も行っています。

II 対象範囲

岡崎医療株式会社	本社
〃	本社第2ビル
〃	鶴岡営業所
〃	酒田営業所
〃	医学部前調剤薬局
〃	鈴川調剤薬局
〃	かごた調剤薬局
〃	城西調剤薬局
〃	七日町調剤薬局

対象期間 平成25年1月～12月

発行日 平成26年4月25日 作成

エコアクション21

認証・登録番号 0003346

山形エコアクション21

認証・登録番号 YEA21-000024

岡崎医療株式会社

代表者 齋藤 嘉廣

環境管理責任者 大場 一彦

事務局 総務部 佐藤 松博

Ⅲ 環境方針

《基本理念》

岡崎医療株式会社は、医療・福祉・健康分野での事業活動を通して、環境問題に正面から積極的に取り組んでいきます。

全社を挙げてその取組みを継続して実行することで、地域社会に貢献する企業を目指します。

《基本方針》

1. 環境経営システムの運用

環境活動を通し、地域社会への貢献と地球環境の保護に取り組むために、環境目標を定め、環境経営システムを効果的に運用し継続的な改善を図っていきます。

2. 資源、エネルギーの効率的な使用と二酸化炭素排出量の低減

事業活動を通して発生する環境負荷を低減するよう各種取組みを実施します。

- ・電気使用量、化石燃料使用量、水使用量の把握と低減
- ・廃棄物の排出抑制とリサイクル処理
- ・エコドライブ、ノーカーデー、グリーン購入等の活動推進

3. 環境関連法規等の遵守

環境に関する法令・規則の内容を正しく理解し、その遵守に努めます。

4. 環境方針及び環境経営システムの周知と公開

環境方針及び環境経営システムを全社員が理解し、環境への意識向上が図れるように教育・啓発活動を行うとともに、広く社外にも公開し地域社会に貢献します。

平成24年1月1日

IV 環境目標

3ヶ年の中期計画の3年目に当る、25年の目標は22年対比3%削減にチャレンジします。
環境活動計画の各項目は、推進担当者を役割分担し活動を推進します。

〈22年実績〉

〈25年目標〉

		消費量 排出量 割合			消費量 排出量	
			(kg-CO2)		(22年実績の3%削減)	
電気使用量	kwh	136,514.00	64,025.07	20.7	132,418.58	62,104.32
灯油	L	14,870.20	37,055.50	11.98	14,424.09	35,943.84
液化石油ガス(LPG)	kg	754.55	2,265.11	0.73	731.91	2,197.16
ガソリン	L	84,488.40	196,153.39	63.42	81,953.75	190,268.79
軽油	L	3,728.10	9,783.83	3.17	3,616.26	9,490.32
二酸化炭素合計	kg-CO2		309,282.90	100		300,004.41
産廃	kg				0	0
水道使用量	m ³	640			620.8	

V 環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1)電気使用量、灯油使用量の削減

- ①冷房・暖房時の部屋の温度管理の徹底
- ②クールビズ、ウォームビズの実行
- ③時間管理の徹底
- ④ノー残業デーの実施、最終退社時刻の徹底

(2)ガソリン使用量の削減

- ①営業車の燃費管理
- ②エコドライブ研修と実践(アイドリングストップ)

2. 廃棄物の削減とリサイクル処理

①分別廃棄の徹底及び減量化

- a.保管場所の管理
- b.産業廃棄物の manifests の管理

3. 水の節水

4. 化学物質使用量の削減

5. グリーン購入

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

7. 環境保全への取組み

(1)清掃等のボランティア活動の実行

- ①近隣地域のごみ拾い、公園清掃
- ②環境活動への参加(クリーンアップキャンペーン参加)
- ③エコキャップ回収活動

(2)環境法令等の知識吸収

- ①エコアクション21環境経営システムの勉強会(教育訓練計画)

8. 山形エコアクション21の取組み事項

- (1)ノーカーデーの推進
- (2)マイバック使用の定着
- (3)グリーン購入の継続



〈産業廃棄物分別〉



〈節水のための水道蛇口カバー〉



〈グリーン購入〉

VI 環境目標の実績

<資料1>環境目標とその達成状況

(2013.1～2013.12)

項目	H22年実績値	H25年目標値	H25年実績値	目標達成率
■二酸化炭素排出量	309,282.90 kg-CO2	300,004.41 kg-CO2	290,265.00 kg-CO2	103.36%
1)電気	64,025.07 kg-CO2	62,104.32 kg-CO2	57,318.37 kg-CO2	108.35%
2)灯油	37,055.50 kg-CO2	35,943.84 kg-CO2	39,684.73 kg-CO2	90.57%
3)LPG	2,265.11 kg-CO2	2,197.16 kg-CO2	2,251.99 kg-CO2	97.57%
4)ガソリン	196,153.39 kg-CO2	190,268.79 kg-CO2	166,230.79 kg-CO2	104.58%
5)軽油	9,783.83 kg-CO2	9,490.32 kg-CO2	24,779.12 kg-CO2	
■廃棄物排出量				
1)廃プラスチック	1,403.00 kg	1,360.91 kg	20,368.00 kg	6.68%
2)金属くず	2,560.80 kg	2,483.98 kg	4,950.50 kg	50.18%
■総排水量 (水使用量)				
1)上水	640.00 m ³	620.80 m ³	598.00 m ³	103.81%
■地域環境保全活動	3件	4件以上	4件	100%

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、平成20年度東北電力 = 0.469を使用しました。

VII 環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

1. 取組み結果

中期計画(3年間)の3年目として22年対比3%削減を目標として取組み

- (1)二酸化炭素排出量 3. 36%削減
- (2)産業廃棄物排出量 販売増による医療機器入替の廃棄量の増加(目標未達)
- (3)水使用量 3. 81%削減の結果となりました。
- (4)化学物質使用量の削減 当社は、化学物質の使用はありません。
- (5)グリーン購入 山形エコアクション21で取組み、65%を継続しています。
- (6)自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮
販売で使用する車両のガソリン使用の削減

2. 評価

- (1)エコアクション21推進担当者の活動計画に基づいて活動しました。
- (2)推進担当者の具体的な施策実行により、全社員が環境への取組みを継続出来ました。
- (3)電気によるCO2排出量は、22年比10.5%の削減を達成しました。(セントラル水冷式冷房の使用中止と扇風機の活用・デマンド機器設置による「見える化」で、節電意識の向上と実践)
- (4)冬の暖房による灯油使用量の増加は、暖房設備の老朽化が要因の為、設備改修をしていきます。
- (5)産業廃棄物の排出は、医療機器入替分の排出量が増大、分別を再構築します。

3. 次年度(平成26年度の取組み内容)

(1)二酸化炭素排出量の削減・・・排出量の絶対数から原単位換算法の継続

中期計画(3年間)も終わり、4年目に当る26年の目標は、設備改修により、前年比較が難しい分野もあり、25年目標(22年対比3%削減)と同じにします。

	〈22年実績〉			〈26年目標〉			
	消費量	排出量	割合	消費量	排出量	割合	
		(kg-CO2)		(22年実績の3%削減)			
電気使用量	kwh	136,514.00	64,025.07	20.36	132,418.58	62,104.32	20.36
灯油	L	14,870.20	37,055.50	11.78	14,424.09	35,943.84	11.78
液化石油ガス(LPG)	kg	754.55	2,265.11	0.72	731.91	2,197.16	0.72
ガソリン	L	84,488.40	196,153.39	62.38	81,953.75	190,268.79	62.38
軽油	L	3,728.10	9,783.83	3.11	3,616.26	9,490.32	3.11
産廃	kg						
二酸化炭素合計	kg-CO2		309,282.90	100		300,004.41	100
水道使用量	m ³	640			620.8		

※原単位を用いた中期目標 例

①電気使用量 (原単位:売上100万円に対する電気使用量<Kwh>)

電気使用量 (原単位)	平成22年度 実績基準値	目標値			実績値	
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度	対22年比
山形	24.16	23.92	23.67	23.43	19.9	17.6%削減
鶴岡	27.72	27.45	27.17	26.89	23.37	15.6%削減
薬剤部	72.96	72.23	71.50	70.77	77.56	6.3%増加
計	31.58	31.26	30.95	30.63	28.58	9.5%削減
削減率		1%	2%	3%	(平成22年基準値からの削減率)	

②ガソリン使用量 (原単位:車両台数10台に対するガソリン使用量<L>)

ガソリン使用量 (原単位)	平成22年度 実績基準値	目標値			実績値	
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度	対22年比
山形	1,710	1,693	1,676	1,659	1,710	±0
鶴岡	1,708	1,691	1,674	1,657	1,381	19.1%削減
計	1,710	1,693	1,675	1,658	1,627	4.8%削減
削減率		1%	2%	3%	(平成22年基準値からの削減率)	

(2)グリーン購入の推進

- ・グリーン商品の購入継続

(4)山形エコアクション21への取組み

- ・ノーカーデーの推進
- ・マイバック使用の定着

(3)自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

- ・当社のCO2排出量の63%がガソリン消費によるものであり、ガソリン使用の削減に配慮しています。

VIII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の確認並びに違反、訴訟等の有無

当社が遵守すべき主な環境関連法規等は次の通りです。

法規等の名称	遵守すべき事項
廃棄物処理法	保管基準、委託基準、マニフェストの発行・管理・保管・報告
消防法	届出、管理
毒物及び劇物取締法	紛失等の防止(施錠管理、在庫管理)、表示、事故等の届出

遵守状況を確認した結果、違反はありません。また、関係当局よりの違反等の指摘、訴訟等は過去3年間ありません。

IX 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境経営システムが有効に機能しているか

環境経営システムについては理解されてきています。しかし、有効に機能せずきめ細かく取組めない項目も見受けられます。次年度以降も、推進担当者のさらなる教育も含め環境経営システムの理解を再度進めていく必要があります。

2. 環境への取組は適切に実施されているか

環境への取組み意識は上がってきています。実績把握の方法に原単位方式も取り入れ工夫も出てきています。

全社員の意識をさらに高めていくために、推進担当者が中心となって環境経営システムの内容を教育・啓発していくことを、さらに意識していきます。

3. 変更の必要性

<変更の要旨>

- | | | |
|------------|-----------|-------------------------|
| 1)環境方針 | (継続・変更) | |
| 2)環境目標 | (継続・変更) | 3年間の中期計画が終了、新たな目標を設定) |
| 3)環境活動計画 | (継続・変更) | 製品・サービス等本業に関する活動計画の見直し) |
| 4)環境経営システム | (継続・変更) | 役割分担の明確化(推進担当者の変更・見直し) |

4. 環境管理責任者への指示

環境への取組みは企業の社会的責任として継続していくものであり、今後とも地域社会貢献のためにそして環境保全のために全社員で行っていく必要があります。3年間の中期計画を何とか継続できたことは、環境への理解が少しできたのではないのでしょうか。

今年は、環境負荷の大きい設備面の改修や、絆の森づくりへの参加による環境への取り組みなど、新しい切り口も探しながら、全社挙げて有意義な活動となるよう進めてほしいです。